

医師連盟 TOTTORI

鳥取県医師連盟発行
発行人 長田 昭 夫

〒680 - 8585 鳥取市戎町317 鳥取県医師会館内
電話 (0857)27 - 5566

平成十六年度予算案を可決

鳥取県医師連盟は二月二十八日、鳥取県医師会館において執行委員会を開催し、平成十六年度収支予算案、鳥取県医師連盟規約の一部改正案を原案通り可決、承認した。また、来る七月十一日予定の参議院議員選挙対策について協議し、日医連推薦候補の西島英利先生を全面的に支援していくことを確認した。

長田委員長あいさつ

お忙しい所お集まりいただき感謝する。日医は「社会保障は平時の国家保障である」と言っているが、それを逆なでするような政府の経済主導型の方針というのを我々は凝視し、組織で対応していかないといけない大事な時期である。今年七月に日医の代表を出す参議院選挙があるが、我々の

組織を固め、たくさん意向をくみ上げて対応していかないといけない。規約一部改正もあるので、議案の審議をお願いしたい。

予 算 案

平成十六年度収支予算案は、概ね前年度と変わりなく、総額二千三百八十五万九千円で、負担金はA 会員一人年額三万円（日医連

分二万円、鳥取県医連分一万円）となっている。詳細は別記（次頁）のとおり。

規 約 改 正

主な規約改正の内容は、

以前より、現行の医師連盟組織には一般会員が参画する場がないとの意見が寄せられており、検討した結果、今回新たに「総会」を設けることにしたこと、

執行委員の選出方法・人数を負担金徴収人数に応じて地区医師連盟から選出することにしたこと、会議の構成、責務などを明確にしたこと、などである。

参議院議員選挙対策

参議院議員選挙は来る七月十一日に実施される。日本医師連盟推薦の現職・宮

崎秀樹議員が今限りで勇退し、後継者として西島英利先生（日医連常任執行委員）を日医連推薦候補者とすることが昨年八月三十一日開催の日医連執行委員会で決定している。

現在、医師連盟では、後援会員獲得運動を展開中である。全国で三百万人、鳥取県で一五、〇〇〇人獲得が目標である。気運を盛り上げるためにも一人でも多くの獲得をお願いしたい。

参議院選挙比例区の順位は、個人名の得票により決定する。西島事務所では、全国で百万票、鳥取県で五、〇〇〇票獲得を目標としている。前回（平成十三年）、武見敬三参議員の時は全国で二二七、〇四二票、鳥取県で二、〇五七票の得票（自民党候補では八番目の得票数）であった。

平成16年度鳥取県医師連盟収支予算(案)

【収入の部】

(単位:千円)

款	項	予算額	前年度予算額	比較増減額	摘 要
1. 会費 (52.51%)		12,530	12,620	- 90	県医連 @10,000円 × 420人 = 4,200,000円 日医連 @20,000円 × 416人 = 8,320,000円
	1. 会費	12,520	12,610	- 90	
	2. 特別会費	10	10	0	
2. 寄付金 (13.95%)		3,328	3,352	- 24	8,320,000円 × 40% = 3,328,000円
	1. 日医連寄付金	3,328	3,352	- 24	
3. その他の収入 (0.01%)		1	1	0	普通預金利息
	1. 雑入	1	1	0	
4. 繰越金 (33.53%)		8,000	8,000	0	前年度繰越金
	1. 繰越金	8,000	8,000	0	
収入合計		23,859	23,973	- 114	

【支出の部】

款	項	予算額	前年度予算額	比較増減額	摘 要
1. 事務費 (0.84%)		200	200	0	
	1. 一般事務費	200	200	0	
2. 組織活動費 (15.89%)		3,790	4,030	- 240	執行委員会旅費、活動旅費 執行委員会諸費 国会議員、県会議懇談会費 医師連盟TOTTORI 3回発行
	1. 旅費	2,000	2,000	0	
	2. 会議費	500	500	0	
	3. 懇談会費	1,000	1,000	0	
	4. 負担金	50	50	0	
	5. 広報費	240	480	- 240	
3. 選挙関係費 (8.38%)		2,000	2,000	0	
	1. 寄付金	2,000	2,000	0	
4. 寄付交付金 (46.49%)		11,092	11,158	- 66	@20,000円 × 416人 = 8,320,000円 @2,700円 × 471人 = 1,271,700円
	1. 日医連負担金	8,320	8,380	- 60	
	2. 地区連絡費	1,500	1,500	0	
	3. 支部交付金	1,272	1,278	- 6	
5. その他の経費 (28.4%)		6,777	6,585	192	
	1. 予備費	6,777	6,585	192	
支出合計		23,859	23,973	- 114	

収支差引残額 な し

西島英利先生 来県される

西島英利先生が全国遊説の一環として去る三月八日(月)来県され、鳥取市と倉吉市で時局講演会を開催したほか、病院、診療所、老健施設等へ挨拶回りをされた。

西島先生は、空路鳥取入りされ、午後一時十五分から東部医師会館での講演会に出席、同伴として日医連常任執行委員の櫻井秀也先生とともに講演された。その要旨は別記のとおり。

講演後西島先生は、幡病院、渡辺病院、尾崎病院、みやこ苑を巡回され、各施設のロビー・会議室などで二十〜五十人の職員を前に挨拶された。

夕方には倉吉市内に入り、藤井政雄記念、野島、清水、北岡、垣田の各病院

を順番に回り、最新の中央情勢についてミニ講演、挨拶をされた。午後七時からは会場をホテルセントパレス倉吉に移し時局講演会に臨まれた。会には中部地区の医師連盟会員、夫人、コメディカル職員など約百名が出席し、約四十分間にわたり講演をされた。西島先生は倉吉に一泊され、翌日、鳥根県へ遊説に行かれた。

櫻井先生挨拶

(要旨)

・西島先生とは、日医の役員として六年間共に仕事をやってきた。私よりずいぶん若いのが知識、行動力、判断力を備えたすばらしい先生である。日本医師連盟として、自信を持って推薦できる先生。我々の願い「国民の健康や命を守るにはどうしたらいいか」政治の場面で発言してくれると確信を持っている。

・まず、名前を覚えて欲しい。先生は九州出身、九州

と云えば日本で一番西の島。西島先生として覚えていただきたい。ちなみに、

西島の

「に」…本当に人間味がある。精神科という立場からか、人に対する思いやりがある先生。

「し」…こうするんだ!という信念を持っている先生。

「じ」…実行力がある。自分で約束したことは必ず実行する。

「ま」…本当にまじめな先生。政治の立場でぜひ、我々の意見を言って欲しい。

・七月十一日の選挙は全国区選挙となり、党名ではなく名前を書く選挙である。まず、西島先生の名前を覚えて欲しいというのが私の一番の願い。

西島先生時局講演会

(要旨)

・去年八月三十一日の委員会で立候補が決定し、現在は全国を巡っている日々である。こうして先生方にお集まりいただけることが明日からの私のエネルギーとなる。

・去年十二月十八日の診療報酬改定においてプラスマイナスゼロが確定した。診療報酬の中の四分の一は公費。公費は税金。税金となると国会で審議され決定される。結果的には政治決着であった。六年間の日医活動の中で、医療というものがいかに政治に深く関わっているものだと感じた。

・平成十三年の武見先生の参院選挙では、健康保険本人三割負担の反対、老人自己負担上限の増額反対を掲げ戦ったが残念ながら二二万七、〇〇〇票という結果



東部医師会館



倉吉・ホテルセントパレス

であった。年末には初めてマイナス二・七%というマイナス改定となり、本当に悔しい思いをした。

・老人医療費の伸び率管理制度は絶対に導入してはいけない。この制度は、例えば平成十六年の医療費の限度を決めれば、それをオーバした分については二年後に全ての医療機関に均等に振り分けて返還をさせるという制度。経営的に厳しくなるのは目に見えていく。イギリスではこの制度を徹底したために、医療機関が次々に倒産し、優秀な

医師は外国に出てしまい、必要な時にすぐに医療を受けれない状態となった。

・日本では、病院の株式会社化を中心とした米国型の医療制度を導入しようとしている。利益追求をして人件費削減など行つた結果、米国では株式会社病院は法人より死亡率が高いという報告が出ている。患者の治療方法は民間保険会社が決定権を持っており、豊富なお金がないと良い医療が受けられない。

・混合診療解禁の裏には公的保険の守備範囲（給付範囲）の縮小が隠れている。基本的な所しか公的保険で診ず、それ以外は民間保険会社に肩代わりさせるといのが財務省、並びに総合規制改革会議の目的。総合規制改革会議の重要なメンバーの多くは民間保険会社のオーナーでこれをビジネスチャンスと考えている。

「民間保険会社の手から医師・看護師・国民主導の医療を取り戻そう」と言われるほど米国の医療は最悪の状態になっている。

・私は国民の一番の関心の健康、そしてその健康を支える医療、医療を支える国民皆保険制度を絶対に壊してはならないという強い決意を持ち、なんとか一〇〇万票を獲得し、国会の場で議論をして一部の人間たちの野望をたたき潰したい。

ご理解いただければ周囲へ理解の輪を広げていただき、力を貸していただきました。



私は「医療」から、この日本を元気にしたい。

挑む医師。 西島英利

推薦：日本医師連盟 自由民主党公認